

事業提案概要書

七転び八起き塾 第3期生

第1グループ：片岸永一・廣瀬典子・宮岡真弓・澤田桂子

くつろぎ ライフマガジン「^{ひびなんと}日々南砺」

【現状と課題】

国立社会保障・人口問題研究所の『日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計）によると平成17年から30年後の平成47年には南砺市の人口は30%減少、これからの南砺を担う20歳から39歳の人口は44.7%減少すると予測されている。

【目的】

少子高齢化、人口減少が急速に進むと予測されるなかで、定住人口の増加を将来にわたって望むことは困難な状況。このような中で、今南砺に住んでいる人々の生活の質や心の豊かさを向上させることが重要となっている。

これからの南砺を担う自分たちと同じ若い世代が、元気に、楽しく、生き生きと生活できれば、南砺がさらに魅力ある“まち”になるのではないか。

そのために、若い世代が南砺を満喫できる、南砺でくつろげるような情報を提供したい。

【コンセプト】

「南砺を知る、歩く、^{たの}愉しむ」そして「くつろぐ」20～30代のためのライフマガジン

【ターゲット】

20～30代の男女（塾生と同じ世代）

【情報誌の特徴】

- ・写真、イラストのビジュアル面、見出しや記事の書き方を若者向けにする。
 - ・いつ読んでも色あせない記事、繰り返し読みたくなる記事
- （案）「南砺のおみやげ文化」、「裏路地さんぽ特集」、「地元野菜の料理レシピ紹介」など

【概要】

- ・年3回発行
- ・2万部発刊（1回当たり）
- ・無料配布
- ・A5サイズ、中綴じ製本、フルカラー、32ページ
- ・読者モデルを募集し、情報誌の企画に参加してもらう。

【配布場所】

- ・南砺市の各世帯へ広報と一緒に配布
- ・図書館や道の駅、高速道路のサービスエリアなどに設置
- ・市内のイベント時に配布

【広報宣伝活動等】

- ・78 塾生の取材活動等を紹介するブログを開設し、いち早く、広く情報を発信
- ・facebook、twitter 等も活用。

【製作手順】

- ・1 回当たりの製作期間は約3ヶ月。

企画会議⇒編集会議⇒取材・撮影⇒原稿執筆・整理⇒レイアウト⇒印刷見本の校正⇒印刷所入稿⇒校正⇒印刷製本⇒納品・配布

【スケジュール】

- ・創刊号（6月25日）、第2号（9月25日）、第3号（12月25日）の年3回発行。
- ・第3号にアンケートをつける。2月25日の広報でアンケート結果を公表。

【予算】

（収入の部）

項目	金額（円）	備考
市助成	3,000,000	
合計	3,000,000	

（支出の部）

項目	金額（円）	備考
印刷製本費	2,420,000	◆情報誌本体 800,000×3回 ◆企画紹介書 100枚、A4、フルカラー
取材費	200,000	謝礼
備品購入費	200,000	Photoshop、Illustrator（画像編集・描画ソフト）
広報宣伝費	100,000	会場使用料
消耗品費、雑費	80,000	
合計	3,000,000	

※民間企業等の事業所の広告を有料で掲載。収入があれば市助成分を減額する。

【効果】

「日々南砺」を手に取り、読んでもらうことで、次の効果が期待される。

- ・南砺の魅力に気づき、南砺での生活に魅力を感じる。
- ・共通の話題が増え、絆が強くなる。

そして、生活の質や心の豊かさが向上する。